

令和 5 年度 第 3 回魅力あふれる公園づくり推進委員会（令和 6 年 3 月 21 日）
における主な意見と対応

意見	事務局の対応と考え方
整備の優先度について（全体）	
1) 事業の優先度評価について、市民の方に分かりやすいような整理の仕方をしてほしい。	評価のプロセスが明確になるよう、評価項目や評価方法などの見直しを行いました。
2) 市民の意見要望が高いにも関わらず、整備優先度が低いものは、その理由が必要である。	評価の結果、「市民」の期待が高いものの、着手時期が「中期」・「長期」になるエリアに関しては、プレ事業（構想の実現に向けたソフト的な取り組みを実施する）を設定することで、可能な限り市民の期待に応えるような内容としました。
3) 想定事業期間の区分と、総合評価での着手時期の短期、中期、長期の区分の使い分けが分かりにくい。（事業期間と着手時期の違いが分かりにくいので、分かりやすい用語で表現してほしい。）	想定事業期間は事業における計画・設計から供用開始までの期間を表しています。 一方で、着手時期は計画・設計に着手する時点のことであり、ロードマップ策定から 5 年目（2029 年度）までに着手するものを短期、15 年目（2039 年度）までを中期、16 年目（2040 年度）以降を長期と区分しています。
4) 例としてコストなど、整備のボリューム感を表現した方が理解しやすいと思うが。	整備のボリューム感については、今回は利活用イメージで想定される事業を実施した場合の、概ねの事業期間でお示しします。
5) 資料内で「総合評価」という記述が複数個所に出てくるが、異なる意味で使われているようなので、表現を工夫してほしい。	評価方法を修正し、評価表の最下段部分は「着手時期の設定」としました。
ロードマップについて	
6) ハードの部分の整備事業という捉え方をするのか、ソフトを含んだ上での事業なのか分かりにくいので、表現の仕方を工夫したほうがよい。	ロードマップの表現方法を見直すとともに、凡例を加えました。

1.ロードマップ作成までの流れ

事業着手優先度の評価

①評価対象の設定

各公園の将来像を実現するために必要となる整備メニューを整理する。

②「整備優先度」評価

各公園の整備メニューを、市民・事業者・行政の3つの視点で評価を行い、「整備優先度」を設定する。

③「整備のしやすさ」評価

事業実施を妨げる要素がどの程度あるか評価し、「整備のしやすさ」を設定する。

④「利活用優先度」評価

各公園の運営メニューを、市民・事業者・行政の3つの視点で評価し、「利活用優先度」を設定する。

⑤着手時期の設定

②③④の評価に基づき、各整備メニューの着手時期を以下のとおり設定する。

- ・短期 5年目(2029年度)まで
- ・中期 15年目(2039年度)まで
- ・長期 16年目(2040年度)以降

⑥ 各公園のロードマップ作成

⑤で設定した着手時期に以下を考慮して、各公園のロードマップを作成する。

- 1) 想定事業期間：③整備のしやすさ評価のうち、「早期実現性」の項目で想定した各整備の事業期間を、ロードマップにも反映する。
- 2) 公園の個別事情：現在の利用状況、関連エリア同士の連続整備、整備内容の性質を考慮する。

5公園整備 ロードマップ作成

2.前回委員会からの変更 評価項目等の見直し①

- ・分かりやすい評価とするため、評価項目・評価の仕方を修正
- ・日ごろから公園に関わる「市民」「事業者」「行政」の3つの視点に評価項目を集約
- ・「市民」視点の評価を充実

A:整備優先度評価

変更前

評価項目		評価
市民	市民の期待・要望 期待順位・得票数	◎ or ○ or △
事業者	公園に興味のある事業者数	◎ or ○ or △
	うち参画の可能性	◎ or ○ or △
	事業者からの具体提案イメージ	◎ or ○ or △
	イメージとの整合 (概ね整合、やや整合、不整合)	◎ or ○ or △
	官民連携の可能性	◎ or ○ or △
	他エリアとの一体整備の必要性	◎ or ○ or △
社会	安全・安心効果 ・防災機能向上	◎ or ○ or △
	生活の質の向上効果 ・環境維持・改善 ・健康・レク提供 ・景観形成 ・文化伝承 ・子育て・教育 ・コミュニティ形成	◎ or ○ or △
	生産拡大効果 ・観光振興、経済活性化	◎ or ○ or △
行政	施設状況、喫緊課題、 惜しいところ	◎ or ○ or △
	イメージや課題に対する 市の取組状況・熟度	◎ or ○ or △
整備優先度		高 or 中 or 低

変更後

評価項目		評価
市民	市民の期待・要望 期待順位・得票数	
	惜しいところ(ハード)	
事業者	安全・安心効果 ・防災機能向上	高 or 中 or 低
	生活の質の向上効果 ・環境維持・改善 ・健康・レク提供 ・景観形成 ・文化伝承 ・子育て・教育 ・コミュニティ形成	
	公園に興味のある事業者数	
	積極的参加意欲のある事業者	
	事業者からの具体提案イメージ	
	イメージとの整合 (概ね整合、やや整合、不整合)	
社会	官民連携の可能性	高 or 中 or 低
	他エリアとの一体整備の必要性	
	生産拡大効果 ・観光振興・経済活性化	
行政	施設状況、喫緊課題	高 or 中 or 低
	イメージや課題に対する 市の取組状況・熟度	
整備優先度評価		◎ or ○ or △

赤字:変更点

変更点

- ・「市民」「事業者」「行政」の3つの視点に集約
- ・「社会」に記載していた項目をストック効果の対象に応じて市民、事業者に振り分け
- ・「市民」の項目を具体化
 - ▶「惜しいところ」を追加
(行政→市民)
 - ▶市民の立場からみた公園整備の利点(ストック効果)を追加
(社会→市民)
- ・評価方法の見直し
 - ★各項目の評価
◎ or ○ or △
↓
高 or 中 or 低
 - ★整備優先度の評価
高 or 中 or 低
↓
◎ or ○ or △

2.前回委員会からの変更 評価項目等の見直し②

- ・分かりやすい評価とするため、評価項目・評価の仕方を修正
- ・日ごろから公園に関わる「市民」「事業者」「行政」の3つの立場に評価項目を集約
- ・「市民」視点の評価を充実

B:整備のしやすさ評価

赤字:変更点

変更前

評価項目		評価
法規制	都市計画公園区域	◎ or ○ or △
	供用開始	◎ or ○ or △
	その他規制	◎ or ○ or △
用地買収の有無、交渉人数		◎ or ○ or △
現時点での民間資金や補助金の活用見込み		◎ or ○ or △
周辺環境への影響・懸案事項		◎ or ○ or △
整備難易度		高 or 中 or 低

変更後

評価項目		評価
法規制	都市計画公園区域	易 or 中 or 難
	供用開始	
	その他規制	
周辺環境への影響、懸案事項 用地買収の有無		易 or 中 or 難
早期実現性(想定事業期間)		易 or 中 or 難
整備のしやすさ評価		◎ or ○ or △

変更点

- ・「整備難易度」を「整備のしやすさ」に読み替え
- ・早期実現性(想定事業期間)を追加
- ・「現時点での民間資金や補助金の活用見込み」を削除
- ・「用地買収の有無・交渉人数」と「周辺環境への影響・懸案事項」を集約

評価方法の見直し

★各項目の評価

◎ or ○ or △



易 or 中 or 難

★整備のしやすさの評価

高 or 中 or 低



◎ or ○ or △

2.前回委員会からの変更 評価項目等の見直し③

- ・分かりやすい評価とするため、評価項目・評価の仕方を修正
- ・日ごろから公園に関わる「市民」「事業者」「行政」の3つの立場に評価項目を集約
- ・「市民」視点の評価を充実

赤字:変更点

C:利活用優先度評価

変更前

評価項目		評価
事業者	指定管理者制度活用の可能性	◎ or ○ or △
	提案利活用イメージ	◎ or ○ or △
行政	運営上の喫緊課題 惜しいところ	◎ or ○ or △
社会	指定管理状況	◎ or ○ or △
	周辺施設との連携	◎ or ○ or △
利活用優先度評価		高 or 中 or 低

変更後

評価項目		評価
市民	惜しいところ(ソフト)	高 or 中 or 低
事業者	指定管理者制度活用の可能性	高 or 中 or 低
	提案利活用イメージ	
行政	運営上の喫緊課題	高 or 中 or 低
	指定管理状況	
	周辺施設との連携	
利活用優先度評価		◎ or ○ or △

変更点

- ・「市民」の視点を追加
- ・「社会」の評価項目を「行政」に読み替え

・評価方法の見直し

★各項目の評価

◎ or ○ or △

↓

高 or 中 or 低

★利活用優先度評価

高 or 中 or 低

↓

◎ or ○ or △

2.前回委員会からの変更 評価項目等の見直し④

・分かりやすい評価とするため、評価の仕方を修正

A:整備優先度評価、B:整備のしやすさ評価、C:利活用優先度評価

変更前

・評価項目ごとに「◎」「○」「△」により評価し、「A:整備優先度評価」等を定量的に「高」「中」「低」を設定

変更後

・評価の視点ごとに定性的に「高」「中」「低」により評価し、以下に示す方法で「A:整備優先度評価」等を定量的に「◎」「○」「△」を設定

変更後

A:整備優先度評価、C:利活用優先度評価

市民、事業者、行政 の3つの組合せ(順不同)			評価
高	高	高	◎
高	高	中	
高	高	低	
高	中	中	○
高	中	低	
高	低	低	
中	中	中	
中	中	低	△
中	低	低	
低	低	低	

B:整備のしやすさ評価

法規制、用地買収の有無等、早期実現性 の3つの組合せ(順不同)			評価
易	易	易	◎
易	易	中	
易	易	難	
易	中	中	○
易	中	難	
易	難	難	
中	中	中	
中	中	難	△
中	難	難	
難	難	難	

3.前回委員会からの変更 評価項目等の見直し⑤

着手時期設定の方法の見直し

着手時期設定

変更点

- ・「A:整備優先度評価」等の3項目を「高」「中」「低」で定量的に評価し、着手時期を設定していたが、

変更後

- ・「A:整備優先度評価」等の3項目を「◎」「○」「△」で以下のとおり定量的に評価し、着手時期を設定

変更後

着手時期

A:整備優先度評価 B:整備しやすさ評価 C:利活用優先度評価 の3つの組合せ(順不同)			評価
◎	◎	◎	短期 5年目(2029年度)まで
◎	◎	○	
◎	◎	△	
◎	○	○	中期 15年目(2039年度)まで
◎	○	△	
◎	△	△	
○	○	○	
○	○	△	長期 16年目(2040年度)以降
○	△	△	
△	△	△	

4. 見直しを踏まえた評価表について – 亀城公園の歴史体感エリアを例に –

【A：整備優先度評価】	市民	市民の期待・要望 期待順位・得票数	1位(73票) ・運動施設と公園施設は 分かれている方が 利便性がよくなると思う ・カフェや飲食店がほしい ・遊具がたくさんある公園がよい ・子どもが遊ぶ場が増えるのが良い ・お土産屋さんがほしい ・水遊び場、遊具がほしい	高
		惜しいところ	・平日に利用しない ・運動施設と文化施設が混在している ・売店が充実していない ・イベントが重なると駐車場が混み合う	
		安全・安心効果 ・防災機能向上	・歴史体感広場の整備により防災 機能向上効果が期待できる	
		生活の質の向上効果 ・環境維持、改善 ・健康、レク提供 ・景観形成 ・文化伝承 ・子育て、教育 ・コミュニティ形成	・遊具、広場の整備により 健康、レク効果が期待できる	
	事業者	公園に興味のある事業者数	10	高
		積極的参加意欲のある 事業者数	5	
		事業者からの 具体提案イメージ	・歴史を感じさせる遊具 ・歴史を感じさせる カフェやアトラクション ・屋内遊戯施設 ・ジップライン ・温泉、サウナ、プール ・飲食施設 ・ドッグラン ・ウォーキングコース ・イベント広場	
		イメージとの整合 (概ね整合、やや整合、不整合)	やや整合	
		官民連携の可能性	可能性あり(積極的参加意欲：2社) (P-PFI・指定管理・DB,DBO等での 飲食・娯楽施設等の運営)	
		他エリアとの一体整備の必要性	なし	
		生産拡大効果 ・観光振興 ・経済活性化	・刈谷城址エリアとの一体的な整備に より観光振興効果が期待できる	

【A:整備優先度評価】	行政	施設状況 喫緊課題	・平日の利用者が少ない ・運動施設と文化施設が混在している ・イベント時の駐車場不足 ・歴史博物館北側の土地利用	中
		イメージや課題に対する市の取組状況 ・熟度	・体育館の耐用年数は残り26年 ・武道施設の耐用年数は残り64年	
	整備優先度評価		◎	
【B:整備のしやすさ評価】	法規制	都市計画区域	都市計画区域	中
		供用開始	供用済	
		その他規制	第3種風致地区 文化財包蔵地	
	周辺環境への影響、懸案事項 用地買収の有無		・体育館、武道施設の移転しないと整備が進まない	難
	早期実現性		約6年 (設計:約3年、整備約3年)	中
	整備のしやすさ評価		△	
【C:利活用優先度評価】	市民	惜しいところ	・平日に利用しない ・売店が充実していない ・ゴミがある、汚い	中
	事業者	指定管理者制度活用の可能性	5	高
		提案利活用イメージ	・プロジェクションマッピング ・ウォーキングコース ・河川敷での大型イベント ・光のアート、デジタルアート ・小商いスペース、和風コンテナ	
	行政	運営上の喫緊課題	・平日の利用者が少ない	中
		指定管理状況	未整備・未指定	
		周辺施設との連携	亀城小学校との連携が期待できる	
利活用優先度評価		○		

凡例

：高評価

：低評価

着手時期の設定 (短期、中期、長期)	中期
-----------------------	----

(整備優先度評価：◎、整備のしやすさ評価：△、利活用優先度評価：○)

5. 各公園の再評価結果

洲原公園

エリア名 評価	桜広場 エリア	キャンプフィールド・エリア		学びの森・エリア		水辺の森 エリア	池の周遊 コース	池(水面) の 活用	池の東西 を つなぐ	岩ヶ池公園 との連携
			うち体験農園、 果樹園		うち大学敷地内					
整備優先度	○	○	○	◎	◎	○	△	△	○	△
整備のしやすさ	○	○	○	◎	◎	○	○	○	△	△
利活用優先度	◎	◎	○	◎	○	○	△	○	△	○
着手時期	中期	中期	中期	短期	短期	中期	長期 (各エリア整備に あわせ実施)	長期	長期	長期 (各エリア整備に あわせ実施)
着手時期 (前回評価)	—	中期	中期	短期	短期	長期	長期	長期	長期	長期

岩ヶ池公園

エリア名 評価	地域の森 エリア	森の中ステイ エリア	森と水の冒険 エリア	ファミリー エリア	交流 エリア	池の周遊 コース	池の南北を つなぐ	洲原公園 との連携
整備優先度	△	◎	◎	△	△	◎	△	△
整備のしやすさ	△	△	△	△	◎	◎	○	△
利活用優先度	○	○	○	△	△	△	△	△
着手時期	長期	中期	中期	長期	中期	短期	長期	長期 (各エリア整備に あわせ実施)
着手時期 (前回評価)	中期	中期	中期	長期	—	短期	長期	長期

5. 各公園の再評価結果

刈谷市総合運動公園

エリア名 評価	プラススポーツ・エリア(拡張エリア)			リバーサイド ・エリア	エントランス ・エリア	アリーナ・ スタジアム ・エリア	グリーンフィールド・エリア	
	うち駐車場整備	うち スポーツ施設整備	うち ニュースポーツ 施設整備				うち グリーンフィールド1 (エントランス側)	うち グリーンフィールド2 (レインボー マウンテン側)
整備優先度	◎	◎	◎	○	◎	△	◎	◎
整備のしやすさ	△	△	△	○	◎	◎	◎	◎
利活用優先度	○	○	○	○	○	○	○	△
着手時期	中期	中期	中期	中期	短期	中期	短期	短期
着手時期 (前回評価)	中期	長期	長期	中期	短期	長期	短期	長期

亀城公園

エリア名 評価	歴史体感・エリア		刈谷城址・エリア		桜のみち
		うち体育館 ・武道施設の移転		うち 刈谷球場の移転	
整備優先度	◎	◎	◎	○	△
整備のしやすさ	△	△	◎	△	○
利活用優先度	○	○	○	○	△
着手時期	中期	中期	短期	長期	長期
着手時期 (前回評価)	長期	中期	短期	長期	長期

5. 各公園の再評価結果

フローラルガーデンよさみ

エリア名 評価	ガーデン ・エリア	花の丘 ・エリア	あそびとつどい ・エリア	依佐美通信所・エリア		ジョギング・ ウォーキング ・コース	緑のみち
					うち森の小屋 プレーパーク ビオトープ		
整備優先度	○	△	◎	△	△	△	△
整備のしやすさ	◎	△	○	△	△	○	○
利活用優先度	○	△	△	△	△	△	△
着手時期	中期	長期	中期	長期	長期	長期	長期
着手時期 (前回評価)	長期	長期	長期	長期	長期	長期	長期

■洲原公園

エリア名		桜広場・エリア	キャンプフィールド・エリア			学びの森・エリア	
				うち体験農園、果樹園		うち大学敷地内	
利用イメージ(整備)		四季の花や桜の充実を図り、広場で季節ごとのイベントが楽しめるエリア 【イメージ】 四季の花・遊歩道/広場など	洲原ロッジのリニューアルやキャンプ場の機能を拡充し、体験農園や地元産材も楽しめるエリア ■洲原ロッジ ■キャンプ場 ■体験農園 ■体験果樹園 【イメージ】 洲原ロッジ(宿泊施設)/キャンプ場/体験農園/体験果樹園など			水辺に活動拠点を配置し、豊かな自然をいかした楽しみながら学べるエリア ■自然体験学習施設+カフェテラス ■サイクルステーション ■アドベンチャー遊具 【イメージ】 学びの森/活動拠点(自然体験学習施設+カフェテラス)/サイクルステーション/アドベンチャー遊具/野鳥観察など	
市民	市民の期待・要望 期待順位・得票数	(3位)51票 ・四季を通してくつろげる場所なので、もっと利用者が増えるように活用してほしい ・たくさんイベントを開催すると良い ・桜がきれい ・桜の植え替えをしてほしい	(5位)32票 ・リニューアルされたらより活用したい ・施設が活用になってほしい ・レンタル品を置いてほしい	(5位)32票 ・なるべく自然にのびのびしたパークにしてほしい ・いちご狩り、ブドウ狩りをしてほしい	(1位)59票 ・イベントとして子ども向けの自然教室などがあれば良い ・自然とカフェが一体化するのは良い ・生体調査等自然学習できるところをつくってほしい ・駐車場が少ないので少し不便である	(1位)59票 ・大学の協力を得て形式を問わず、いろいろな活動に使えるといいと思う ・アドベンチャー遊具は面白いアイデアである	
	惜しいところ	・桜が老朽化している ・雨の時遊ぶことができない ・広場がいかされていない ・売店が充実していない	・園路がデコボコしている ・外灯が少ない ・ベンチが少ない	なし	・売店が充実していない	・土地が有効活用されていない ・洲原公園との連携がない	
	安全・安心効果 ・防災機能向上	なし	なし	なし	なし	なし	
	生活の質の向上効果 ・環境維持、改善 ・健康・レク提供 ・景観形成 ・文化伝承 ・子育て、教育 ・コミュニティ形成	なし	なし	なし	・草木を除草し、適切な整備を実施することで景観形成効果が期待できる ・大学生と子どもたちが交流を図ることで、子育て、教育効果が期待できる	・自然を生かした遊び場等の整備により健康、レク効果が期待できる	
	公園に興味のある事業者数	12	12	12	12	12	
事業者	積極的参加意欲のある事業者	3	3	3	3	3	
	事業者からの具体提案イメージ	■ドックラン ■カフェ	■キャンプ場(宿泊) ■市民農園エリアまで拡張したキャンプサイト ■BBQ施設を備えたキャンプ ■団体利用者向けのデイキャンプ施設	■人気カフェと地元農園のコラボ	■ドームテントのカフェ ■学び舎	なし	
	イメージとの整合(概ね整合、やや整合、不整合)	不整合	概ね整合	やや整合	概ね整合	—	
	官民連携の可能性	可能性あり(積極的参加意欲:2社) ・指定管理でのネイチャーツアー運営、ライブ運営	可能性あり(積極的参加意欲:1社) ・キャンプ場、洲原ロッジの増設やリニューアルによる指定管理	可能性なし	可能性あり(積極的参加意欲:2社) ・指定管理でのネイチャーツアー運営 ・P・PFなどでのレストラン、カフェ設置	可能性なし	
	他エリアとの一体整備の必要性	なし	なし	なし	なし	なし	
行政	生産拡大効果 ・観光振興 ・経済活性化	なし	・宿泊施設を拠点として市内を観光していただくことで観光振興効果や市内の経済活性化効果が期待できる	・体験農園や体験果樹園の観光農園としての観光振興効果が期待できる	なし	なし	
	施設状況 関係課題	・桜の樹勢の衰え ・雨の時遊ぶことができない ・広場がいかされていない ・売店が充実していない	■洲原ロッジ ・施設の老朽化(H1建設) 築35年 ・利用者:3,067人(2019年度) ・施設の稼働率の低下 稼働率:約20% ※目標耐用年数80年 ■デイキャンプ場 ・施設の老朽化(H9年建設) 築27年 ・稼働率の低下 稼働率:約15% ※目標耐用年数41年 ・樹木の適正管理・舗装の老朽化(園路がデコボコ) ・外灯が少ない・ベンチが少ない	なし	・未供用区域の適正管理 ・売店が充実していない	・樹木の適正管理 ・土地の有効活用 ・洲原公園との連携活用	
	イメージや課題に対する市の取組状況・熱度	・H31年度に再整備済 ・年間管理委託内での、花壇の管理	・R7大規模改修委託 ・R9大規模改修予定 ・洲原ロッジの耐用年数は残り45年 ・デイキャンプ場の耐用年数は残り14年	—	・一部造成済	・大学と土地活用について協議中	
整備優先度評価		○	○	○	◎	◎	

【整備のしやすさ評価】	都市計画公園区域	公園区域内	公園区域内	公園区域内	公園区域内	公園区域内	公園区域外			
	法規制	供用開始	供用済	中	供用済	中	未供用	難		
	その他規制	第2種風致地区、森林計画対象民有林	第2種風致地区、森林計画対象民有林	中	第2種風致地区 森林計画対象民有林	中	第2種風致地区 森林計画対象民有林	易		
	周辺環境への影響、懸念事項 用地買収の有無	なし	易	・若く池公園と競合する可能性あり	用地買収が必要 約15,000㎡、交渉人数1人	中	なし	用地買収が必要 ただし敷地所有者と協議済 約30,000㎡、交渉人数1人	易	
早期実現性 (想定事業期間)	—	中	約7年 (計画設計(公費込):約3年、整備:約4年)	中	約8年 (用地買収:約1年、法手続き:約2年、事業者公募: 約2年、設計:約1年、整備:2年)	中	約5年 (計画設計:約3年、整備:約2年)	易	約4年 (計画設計:3年、整備約1年)	易
整備のしやすさ評価	○		○		○		◎		◎	

【利活用優先度評価】

エリア名	桜広場・エリア		キャンプフィールド・エリア				学びの森・エリア				
利用イメージ	四季の花や桜の充実を図り、広場で季節ごとのイベントが楽しめるエリア ○四季の花や桜を楽しむ家族で一年を通して賑わっています。 ○丘陵地をいかした遊具や広場で家族などだれもが一緒に遊んでいます。 ○大学と地域の方が一緒にイベントを開催しています。 ○夜ならではの公園を楽しむナイトパークが開催されています。 ○神社を囲む豊かな緑は、鎮守の森として、訪れる人の心身を癒しています。		洲原ロッジのリニューアルやキャンプ場の機能を拡充し、体験農園や地元産材も楽しめるエリア ○高齢者をはじめ、みんな一緒にロッジやテントに泊まって、一日中自然に囲まれた時間を過ごしています。 ○既存の施設で講座やスポーツ教室が開催され、子どもから大人までだれもが一緒に楽しんでいます。 ○昆虫採集や天体観測など自然をいかした体験や公園で集めた材料を使った工作などを行っています。 ○体験農園で収穫したももがたてで新鮮なフルーツや野菜をバーベキューで美味しく、ジャムづくりの加工体験などを楽しんでいます。				水辺に活動拠点を配置し、豊かな自然をいかした楽しみながら学べるエリア ○大学生と子どもたちが木の実や葉などを使って遊びながら、お互いに学んでいます。 ○カフェテラスでは、公園内で加工した物を販売したり、公園利用者や大学生などが、水辺の景色を楽しみながらくつろいでいます。 ○自然体験学習施設では、昆虫採集や野鳥観察などのフィールドワークが開かれており、自然をいかした遊具や遊びを通して、子どもたちの好奇心を育んでいます。				
市民	惜しいところ	・雨の時遊ぶことができない ・広場が生かされていない ・売店が充実していない	中		中	なし	低	なし	低	なし	低
事業者	指定管理者制度利用の可能性	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	提案利活用イメージ	・ライブ運営(約2000人規模) ・既存の自然を活かしたネイチャーツアー ・学びのプログラムの提供	・団体利用の需要に特化した研修フィールドとしての活用 ・洲原ロッジの活用(センターハウス、教育・研修園等利用) ・既存の自然を活かしたネイチャーツアー ・学びプログラムの提供 ・シェアサイクルの導入	・飲食店・おみやげ店を併設して農産物利用するなど環境配慮した取り組み	・既存の自然を活かしたネイチャーツアー ・学びプログラムの提供 ・シェアサイクルの導入	・既存の自然を活かしたネイチャーツアー ・学びプログラムの提供					
行政	運営上の課題課題	・桜の樹勢の衰え ・売店の老朽化	・(洲原ロッジ) 利用者:3,067人(2019年度) 稼働率:約20% ・施設の稼働率の低下 ・部屋が施設できないため、宿泊客を制限 ・樹木の適正管理	なし	・未利用地の管理 ・草木の除草 ・大学の土地管理	なし					
	指定管理状況	未指定	指定管理 令和8年度まで(一部未指定区域あり)	高	未整備・未指定	中	未整備・未指定	高	未整備・未指定	中	
	周辺施設との連携	・愛知教育大学との連携	・愛知教育大学との連携 ・周辺観光施設との連携	・愛知教育大学との連携 ・周辺観光施設との連携	・愛知教育大学との連携	・愛知教育大学との連携					
利活用優先度評価		◎	◎	○	◎	○					

着手時期の設定 (短期、中期、長期)	中期	中期	中期	短期	短期
	指定管理者制度の導入での構想の実現を早期に目指す				

■洲原公園

エリア名		水辺の森・エリア	池の周辺コース	池(水面)の活用	池の東西をつなぐ	岩ヶ池公園との連携
利用イメージ(整備)		豊かな自然を活用し、のんびりと過ごすことができるエリア 【イメージ】 自然観察路/竹林さんぽ道/カキツバタ園/休憩施設/野鳥観察など	多くの市民が一年を通して利用する、池を周遊するコース ■遊歩道 【イメージ】 歩きやすい舗装など	洲原池の魅力的な水面を活用 【イメージ】 ボート/カヌー/池を横断するジップラインなど	2つのエリアをつなぐ動線 橋:幅3m、橋長200m程度 ■橋 【イメージ】 渡りたくなるような橋/浮橋など	岩ヶ池公園とは連携を図り、緑道をつなぐ ■緑道 ■サイクルステーション 【イメージ】 緑道/サイクルステーションなど
市民	市民の期待・要望 期待順位・得票数	(6位)31票 なし	(4位)42票 ・歩道が少し固いため、もう少し変化がほしい	(7位)16票 ・カヌーをしたい ・自然を守りつつ野鳥や魚などが住みやすい環境があれば良い	(2位)55票 ・池の東西をつないでほしい ・橋があるとショートカットできるので良い ・池をつなぐと小さい子連れや子どもが大回りしなくて良い ・橋があるとより散歩しやすいくて良い	(8位)12票 なし
	借しいところ	・園路がデコボコしている ・外灯が少ない ・ベンチが少ない	・園路がデコボコしている ・外灯が少ない ・ベンチが少ない	・池が汚い ・遊具広場とディキャンプ場が離れている	・池を迂回する道が長い ・池に橋が欲しい	・緑道がない ・岩ヶ池公園とのつながりが無い
	安全・安心効果 ・防災機能向上	なし	なし	なし	なし	なし
	生活の質の向上効果 ・環境維持、改善 ・健康・レク提供 ・景観形成 ・文化伝承 ・子育て、教育 ・コミュニティ形成	・豊かな自然を満喫し、新進をリフレッシュする機会を提供することで、健康・レク情志が期待できる	なし	なし	なし	なし
	公園に興味のある 事業者数	12	12	12	12	12
	積極的参加意欲のある 事業者	3	3	3	3	3
	事業者からの 具体提案イメージ	■ネイチャーツアー	なし	■池内に釣堀	なし	なし
	イメージとの整合 (概ね整合、やや整合、不整合)	—	—	概ね整合	—	—
	官民連携の可能性	可能性あり(積極的参加意欲:1社) ・指定管理でのネイチャーツアー運営	可能性なし	可能性あり(積極的参加意欲:1社) ・指定管理での釣り堀運営	可能性なし	可能性なし
	他エリアとの一体整備の 必要性	なし	なし	なし	なし	なし
行政	施設状況 課題課題	・樹木の適正管理 ・舗装の老朽化(園路がデコボコ) ・外灯が少ない ・ベンチが少ない	・舗装の老朽化(園路がデコボコ) ・外灯が少ない ・ベンチが少ない	なし	・池を迂回する道が長い ・池に橋が欲しい ・池が汚い ・遊具広場とディキャンプ場が離れている	・緑道の管理
	イメージや課題に対する 市の取組状況・態度	—	—	—	—	—
	整備優先度評価	○	△	△	○	△

【整備のしやすさ評価】	法規制	都市計画公園区域	公園区域内	公園区域内	公園区域内	公園区域内	公園区域内	公園区域内	公園区域内
		供用開始	供用済	供用済	供用済	供用済	供用済	供用済	供用済
		その他規制	第2種風致地区 森林計画対象民有林	第2種風致地区	第2種風致地区	第2種風致地区	第2種風致地区	第2種風致地区	第3種風致地区
	周辺環境への影響、懸念事項 用地買収の有無	なし	なし	なし	・ため池協議が必要	難	・ため池協議が必要	難	・沿道民家に対して配慮が必要 ・用地買収が必要
	早期実現性 (想定事業期間)	約6年 (計画設計:約3年、整備:約3年)	中	各エリアの整備時期に合わせて実施	約4年 (計画:約1年、事業者公募:約2年、整備:約1年)	易	約6年 (計画設計:約3年、整備:約3年)	中	各エリアの整備時期に合わせて実施
整備のしやすさ評価		○	○	○	△	△	△	△	△

エリア名		水辺の森・エリア	池の周辺コース	池(水面)の活用	池の東西をつなぐ	岩ヶ池公園との連携
利用イメージ		豊かな自然を活用し、のんびりと過ごすことができるエリア ○森や水辺を散策しながら、豊かな自然を満喫しています。 ○静かな水辺では野鳥や水生植物を観察したり、ベンチでくつろぎながら、のんびりと過ごしています。	多くの市民が一年を通して利用する、池を周遊するコース ○ウォーキングやジョギングなど、多くの市民がそれぞれの楽しみ方で池を周遊しています。 ○コース沿いの健康遊具で体を動かして、健康づくりに励んでいます。	洲原池の魅力的な水面を活用 ○カヌー体験やボートで遊んでいます。 ○池を横断するジップラインで、上空から池や森の美しい風景を見ながら楽しんでいます。	2つのエリアをつなぐ動線 橋:幅3m、橋長200m程度 ○小さな子どもも楽しむ人も一緒になって、水上からの眺めを楽しんでいます。 ○BBQの合間には対岸に渡り、広場や遊具で遊んでいます。	岩ヶ池公園とは連携を図り、緑道をつなぐ ○岩ヶ池公園までつながる緑道で散歩を楽しんでいます。 ○サイクルステーションで自転車を借りて、サイクリングを楽しんでいます。
市民	借しいところ	なし	なし	・池が汚い	・池を迂回する道が長い ・池に橋が欲しい	・緑道がない ・岩ヶ池公園とのつながりが無い
事業者	指定管理者制度活用 の可能性	8	8	8	8	8
	提案利用イメージ	・既存自然を生かしたネイチャーツアー	なし	・水上アクティビティ ・池を活用した講座やイベント	なし	・シェアサイクルの導入
行政	運営上の課題	・樹木の適正管理	なし	・池が汚い	なし	・緑道の管理
	指定管理状況	・未指定	未指定	未指定	未指定	未指定
	周辺施設との連携	・愛知教育大学との連携	・愛知教育大学との連携	・愛知教育大学との連携	・愛知教育大学との連携	・愛知教育大学との連携
利用優先度評価		○	△	○	△	○

着手時期の設定 (短期、中期、長期)	中期	長期(各エリア整備にあわせ実施)	長期	長期	長期(各エリア整備にあわせ実施)

■岩ヶ池公園

エリア名		地域の森・エリア	森の中ステイ・エリア	森と水の冒険・エリア	ファミリー・エリア
利活用イメージ（整備）		岩ヶ池と周辺の自然環境を「地域の森」として、市民参加の森づくりをするエリア ■地域の憩いの場（森の家） ■遊び場（プレーパーク） 【イメージ】 森の学校/地域の遊び場など	宿泊施設を配置し、自然の中でくつろぎ、ゆっくり滞在できるエリア ■ラグジュアリーなキャンプ施設 ■宿泊施設 ■遊歩道 ■駐車場 【イメージ】 グランピング/ワーケーションなど	森をいかしたアクティブな遊具を配置し、幅広い世代が一緒に遊ぶことができるエリア ■ジップラインやツリークライミング施設 ■アドベンチャー遊具 ■サイクルステーション ■北エントランス広場 【イメージ】 アドベンチャー遊具/木登り施設/ジップライン/サイクルステーション/北エントランス広場など	雨の日も遊べる遊具や日陰で休める施設を配置し、快適に子育て世代が楽しむことのできるエリア ■屋内外にある魅力的な遊具 ■水辺のカフェテラス ■プレイハウス 【イメージ】 プレイハウス（屋内型遊具施設）/水辺のカフェテラス/林間遊具など
	市民の期待・要望 期待順位・得票数	4位(109票)	2位(154票)	1位(191票)	3位(136票)
	市民の 借しいところ	・森のエリアがあるのはよい ・北っ子の森の整備で散歩しやすく安心して歩けるようにしてほしい	・グランピング施設があれば行ってみたいと思った ・近くにないのであったらうれしい ・宿泊施設で刈谷市のことを市街の人が知ってくれるきっかけになりたい ・オートキャンプができるとうい ・泊まれるキャンプ場がよい ・デイグランピングなら行きたい ・緑がおおいのでカフェがほしい	・子どもを遊ばせる魅力的な遊具がほしい ・子どもと楽しめる施設が増えるのがうれしい ・子どもはもちろん大人も楽しめるのでジップラインがほしい ・水辺を生かした設備に夢があってよい ・買物ができると大人もうれしくてよい	なし
	安全・安心効果 防災機能向上	なし	・運動できる広場の整備により防災機能向上効果が期待できる	なし	なし
事業者	生活の質の向上効果 環境維持・改善 健康・レク提供 ・病弱形成 ・文化伝承 ・子育て・教育 ・コミュニティ形成	・樹木の伐採、適正な管理により、環境維持、改善効果が期待できる ・市民参加の森づくりにより、コミュニティ形成効果が期待できる	・子どもが工夫、冒険できる場所がない ・運動できる広場がない ・大学生が遊べる場所がない	・子どもが工夫、冒険できる場所がない ・運動できる広場がない ・大学生が遊べる場所がない	・暑い日に屋外で遊べない ・雨の日に通べる遊具がない ・ベンチ、日よけが欲しい
	公園に興味のある事業者数	9	9	9	9
	積極的参加意欲のある事業者	2	2	2	0
	事業者からの具体提案イメージ	なし	■グランピング、キャンプ施設 ■カフェ、トレーラーハウス ■RVパーク ■ドッグラン	■グランピング、キャンプ施設 ■アスレチック遊具 ■水のアクティビティ ■自走式遊具施設	なし
行政	イメージとの整合 （概ね整合、やや整合、不整合）	—	概ね整合	概ね整合	—
	官民連携の可能性	可能性なし	可能性あり（積極的参加意欲：2社） （PFI・指定管理等でのアウトドア系宿泊施設の運営・指定管理でのイベント運営）	可能性あり（積極的参加意欲：2社） （PFI・指定管理等でのアウトドア系宿泊施設の運営・指定管理でのアクティビティの運営）	可能性なし
	他エリアとの一休整備の必要性	・エリア単体整備では収益が確保できないとの意見あり	・エリア単体整備では収益が確保できないとの意見あり	・エリア単体整備では収益が確保できないとの意見あり	なし
	生産拡大効果 観光振興 経済活性化	なし	・宿泊施設を拠点として市内を観光していただくことで観光振興効果や市内の経済活性化効果が期待できる ・宿泊施設での雇用により、経済活性化効果が期待できる	・ジップライン施設等の整備により観光振興効果が期待できる	なし
施設状況 喫煙課題	施設状況 喫煙課題	なし	なし	なし	・既存屋外遊具は平成20年に整備後、一部改修 ・今後、改修すべき遊具の増加が見込まれる ・暑い日に屋外で遊べない ・雨の日に通べる遊具がない ・ベンチ、日よけ不足
	イメージと課題に対する 市の取組状況・態度	—	—	—	・屋外の魅力的な遊具は既に整備済 ・指定管理者と連携により、暑い中においても快適に滞在出来る公園づくりに努めている
整備優先度評価		△	◎	◎	△

法規制	都市公園区域	公園区域内	公園区域内	公園区域内	公園区域内
	未供用 その他規制	未供用 第2種風致地区、森林計画対象民有林	未供用 第2種風致地区、森林計画対象民有林	未供用 第2種風致地区、森林計画対象民有林	供用済 第3種風致地区、森林計画対象民有林
周辺環境への影響、開発事項 用地買収の有無	・富士松北小学校の北っ子の森との調整 ・用地買収が必要 用地面積：約33,000㎡ 73筆	・洲原ロッジと競合する可能性あり ・用地買収が必要 用地面積：約27,000㎡ 35筆 民家1軒あり	・岩ヶ池公園と競合する可能性あり ・用地買収が必要 用地面積：約30,000㎡ 84筆	・既存施設取り壊し ・駐車場の再編が必要	
	早期実現性	約9年 （用地買収：約3年、法手続き：約1年、計画：約1年、公費準備：約2年、設計：約1年、整備：約1年）	約10年 （用地買収：約2年、法手続き：約1年、計画：約1年、公費準備：約2年、設計：約2年、整備：約2年）	約9年 （用地買収：約3年、法手続き：約1年、計画：約1年、公費準備：約2年、設計：約1年、整備：約1年）	約6年 （計画設計：約3年、整備：約3年）
整備のしやすさ評価		△	△	△	△

エリア名		地域の森・エリア	森の中ステイ・エリア	森と水の冒険・エリア	ファミリー・エリア
利活用イメージ		岩ヶ池と周辺の自然環境を「地域の森」として、市民参加の森づくりをするエリア ○環境学習や自然体験、森づくりの活動を通じて、子どもたちが生きいきと活動しています。 ○岩ヶ池の自然環境と風景を公園の大切な資源として残しながら、地域住民や事業者が一緒にあって、森づくりの活動をしています。 ○地域の憩いの場（森の家）、遊び場（プレーパーク）として、多世代の交流が生まれています。	宿泊施設を配置し、自然の中でくつろぎ、ゆっくり滞在できるエリア ○環境学習や自然体験、森づくりの活動を通じて、子どもたちが生きいきと活動しています。 ○岩ヶ池の自然環境と風景を公園の大切な資源として残しながら、地域住民や事業者が一緒にあって、森づくりの活動をしています。 ○地域の憩いの場（森の家）、遊び場（プレーパーク）として、多世代の交流が生まれています。	森をいかしたアクティブな遊具を配置し、幅広い世代が一緒に遊ぶことができるエリア ○中高生や大学生が、自然をいかしたジップラインやツリークライミングなどで、アクティブに遊んでいます。 ○小さな子どもも家族と一緒に遊んで体験できるアドベンチャー遊具で楽しんでいます。 ○自転車を持って、岩ヶ池の周遊コースと洲原公園までサイクリングを楽しんでいます。	雨の日も遊べる遊具や日陰で休める施設を配置し、快適に子育て世代が楽しむことのできるエリア ○小さな子どもをはじめ、みんなが一緒に屋内外にある魅力的な遊具で遊んでいます。 ○池を眺めながらゆっくり過ごすことができる水辺のカフェテラスは、若者たちのデートスポットとなっています。 ○水辺の園路では、水・緑・花の織りなす景色を見て安らいでいます。
市民	借しいところ	なし	なし	なし	なし
事業者	指定管理者制度活用可能性	7	7	7	0
行政	提案利活用イメージ	なし	なし	バギー・自走式遊具	駐車場の有料化による適正管理
	運営上の喫煙課題	なし	なし	なし	なし
	指定管理状況	未整備・未指定	未整備・未指定	未整備・未指定	指定管理 令和9年度まで
	周辺施設との連携	・富士松北小学校との連携事業が期待できる	なし	なし	なし
利活用優先度評価		○	○	○	△

着手時期の設定 （短期、中期、長期）	長期	中期	中期	長期
-----------------------	----	----	----	----

■岩ヶ池公園

エリア名		交流・エリア	池の周遊コース	池の南北をつなぐ	洲原公園との連携
利活用イメージ(整備)		常に多くの人でにぎわい、人々の出会いと交流が生まれるエリア ■セントラルプラザ ■オアシスステージ ■デラックストイレ ■天然温泉かきつばた ■ジャブジャブ・ミスト噴水 ※すべて既存施設 【既存施設】 セントラルプラザ/オアシスステージ/デラックストイレ/天然温泉かきつばた/ジャブジャブ・ミスト噴水など	岩ヶ池の景色をゆったり安全に楽しむことができる周遊コース ■池を周遊できるコース 【イメージ】 歩きやすい舗装/乗り物での周遊など	だれもが池の岸辺を周遊できるように池の南北をつなぐ動線 ■水上からの眺めを楽しめる施設 ■池を行き来できる施設 【イメージ】 渡りたくなるような人道橋など	洲原公園とは連携を図り、緑道でつながっている ■緑道 ※既存施設 ■サイクルステーション 【イメージ】 緑道/サイクルステーションなど
		6位(47票)	5位(77票)	7位(46票)	8位(45票)
	市民	市民の期待・要望 期待順位・得票数 なし	・遊歩道をつくってほしい ・周回できるコースがあるといい	なし	なし
	市民	借しいところ ・エレベーターが1基しかない ・ベンチ、日よけが欲しい	低 ・周遊できる散策路がない	高 ・周遊できる散策路がない	中 なし
整備優先度評価	事業者	安全・安心効果 ・防災機能向上 なし	なし	なし	なし
	事業者	生活の質の向上効果 ・環境維持、改善 ・健康、レク提供 ・病弱形成 ・文化伝承 ・子育て、教育 ・コミュニティ形成 なし	・池を周遊できるコースの整備により健康、レク効果が期待できる	・池を周遊できるコースの整備により健康、レク効果が期待できる	なし
	事業者	公園に興味のある事業者数 積極的参加意欲のある事業者 事業者からの具体提案イメージ イメージとの整合 (概ね整合、やや整合、不整合) 官民連携の可能性 他エリアとの一体整備の必要性 生産拡大効果 ・観光振興 ・経済活性化	9 1 ■移動モビリティ やや整合 可能性なし なし ・なし	9 0 なし — 可能性なし ・森の中のステイエリアの整備と同時に整備してほしいとの意見あり なし	9 0 なし — 可能性なし なし なし
	行政	施設状況 喫緊課題 イメージや課題に対する 市の取組状況・熟度	・既存施設は平成16年～20年に整備、長いもので約20年経過 ・年間約800万人が来園 ・エレベーターが1基しかない ・ベンチ、日よけ不足 中 ・遊歩道の管理 ・岩ヶ池北側で令和8年度から護岸工事の予定あり ・オアシス橋(Ⅱ期線)の整備を令和6年度から予定	・遊歩道の管理 —	・緑道の管理 —
	整備優先度評価	△	◎	△	△

【整備のしやすさ評価】

法規制	都市公園区域	公園区域内	易	公園区域内	中	公園区域内	中	—	難
	供用開始	供用済		未供用		未供用			
	その他規制	なし		第2種風致地区、森林計画対象民有林		第2種風致地区			
	周辺環境への影響、開発事項 用地買収の有無	なし	易	用地買収不要 ※ため池の護岸工事に合わせて遊歩道を整備する場合	易	ため池協議 池の北エリアとの連携が必要	中	沿道民家に対して配慮が必要	中
	早期実現性	—	中	約5年 (計画設計:約2年、整備:約3年)	易	約5年 (計画設計:約3年、整備:約2年)	易	各エリアの整備時期に合わせて実施	中
	整備のしやすさ評価	◎		◎		○		△	

エリア名		交流・エリア	池の周遊コース	池の南北をつなぐ	洲原公園との連携
利活用イメージ		常に多くの人でにぎわい、人々の出会いと交流が生まれるエリア ○セントラルプラザや天然温泉かきつばたは、民間企業と連携を図り、質の高いサービスを提供し、常に市内外からの多くの人で賑わっています。 ○多くの子どもたちが、楽しそうに水遊びをしています。 ○オアシスステージでは、地域の人たちが参加するダンス、音楽などの発表会や有名なアーティストも出演するコンサートなどいつも楽しいイベントが開催されています。 ○地域の学生と連携し、地域を超えて、より多くの人と交流をしています。	岩ヶ池の景色をゆったり安全に楽しむことができる周遊コース ○ウォーキングやジョギング、散歩など、多くの市民が各々の楽しみ方で池を周遊しています。 ○楽しく移動できる乗り物や次世代の乗り物などで周遊しています。	だれもが池の岸辺を周遊できるように池の南北をつなぐ動線 ○小さな子ども車いすの人も一緒になって、水上からの眺めを楽しんでいます。 ○池の対岸のエリアと行き来しながら、一日中楽しんでいます。	洲原公園とは連携を図り、緑道で散歩をして楽しんでいます。 ○洲原公園までつながる緑道で散歩をして楽しんでいます。 ○サイクルステーションで自転車を借りて、サイクリングを楽しんでいます。
	市民	借しいところ なし	低 なし	低 なし	低 なし
	事業者	指定管理者制度活用の可能性 提案利活用イメージ 運営上の喫緊課題	中 0 なし	低 0 なし	低 0 なし
	行政	指定管理状況 周辺施設との連携 利活用優先度評価	低 未整備・未指定 なし △	中 未整備・未指定 なし △	中 未整備・未指定 なし △

着手時期の設定 (短期、中期、長期)	中期	短期	長期	長期(各エリア整備にあわせ実施)
-----------------------	----	----	----	------------------

■刈谷市総合運動公園

エリア名		プラススポーツ・エリア(拡張エリア)			リバーサイド・エリア
		うち駐車場整備	うちスポーツ施設整備	うちニュースポーツ施設整備	
利活用イメージ(整備)		要望の高いスポーツ施設に加えて、若者に人気の高いスポーツも取り入れた、幅広いスポーツを気軽に体験できるエリア ■ニュースポーツ/テニス/ソフトボール兼少年野球/センター施設(更衣室、スポーツ用品レンタル)など			逢妻川緑地に活動拠点を配置し、水辺空間をいかしたレクリエーション活動が楽しめるエリア ■リバーサイドステーション(活動拠点・カフェ)/売店(コンビニ・スポーツ用品)など
市民	市民の期待・要望 期待順位・得票数	4位(39票) ・駐車場を増やしてほしい	4位(39票) なし	4位(39票) なし	1位(71票) ・川を活用し、市民がゆっくりできる場所をつくることは大切だと思う ・川沿いがきれいなのでカフェが出来たら嬉しい
	惜しいところ	・大規模イベント時には駐車場が足りない ・イベントによっては大渋滞がおこる	・テニスコートがほしい	・スケートボードパークがほしい	・桜の樹勢がない ・河川敷のこみがある ・河川敷が有効活用されていない
	安全・安心効果 ・防災機能向上	・駐車場の整備により防災機能向上効果が期待できる	高 ・スポーツ施設(広場)の整備により防災機能向上効果が期待できる	中 ・スポーツ施設(広場)の整備により防災機能向上効果が期待できる	中 なし
	生活の質の向上効果 ・環境維持、改善 ・健康、レク提供 ・景観形成 ・文化伝承 ・子育て、教育 ・コミュニティ形成	なし	・スポーツを楽しむ機会を提供できる ・スポーツを通じた子どもの育成に貢献する	・スポーツを楽しむ機会を提供できる ・スポーツを通じた子どもの育成に貢献する	・余暇活動の場として利用されることで、幅広い世代の身心のフレッシュや健康増進等に寄与する効果が期待できる
事業者	公園に興味のある事業者数	7	7	7	7
	積極的参加意欲のある事業者	0	0	0	0
	事業者からの具体提案イメージ	・有料駐車場	・テニスコート(オムニコート) ・フットサルコート ・屋根付きスポーツ施設	・民設スケートパーク	なし
	イメージとの整合 (概ね整合、やや整合、不整合)	やや整合	概ね整合	概ね整合	—
	官民連携の可能性	可能性あり(積極的参加意欲:1社) (P-PFI・指定管理等での有料駐車場運営)	中 可能性あり(積極的参加意欲:3社) (P-PFI・指定管理・BTコンセッション等でのコートや施設の運営)	高 可能性あり(積極的参加意欲:1社) (P-PFI・指定管理等での施設運営)	高 可能性なし
	他エリアとの一体整備の必要性	なし	なし	なし	なし
行政	生産拡大効果 ・観光振興 ・経済活性化	なし	・大規模な大会が開催可能な規模であれば、地域経済を活性化する効果が期待できる	・大規模な大会が開催可能な規模であれば、地域経済を活性化する効果が期待できる	・地域の雇用の場を創出し、地域経済を活性化する効果が期待できる
	施設状況 喫緊課題	・大規模イベント時には駐車場が不足する ・イベント時に道路が渋滞する ・来園者のほとんどが自転車利用	・テニスコート設置の要望がある ・スポーツ施設の利用ニーズが高く、予約枠以上の申し込みがある ・園外へボールが飛球する ・夜間利用のニーズが高い	・スケートボードパーク設置の要望がある ・ニュースポーツを興じる場所がない ・フリースクエアの路面が平滑で無いため、スケートボードに通じていない ・多様なスポーツのニーズに対応する必要がある	・桜の樹勢 ・河川敷のこみ
	イメージや課題に対する 市の取組状況・熟度	・運動公園東側駐車場早期整備を検討中	—	—	—
整備優先度評価		◎	◎	◎	○

【整備のしやすさ評価】	法規制	都市公園区域	公園区域外	公園区域外	公園区域外	公園区域内	中
		供用開始	未供用	未供用	未供用	供用済	
		その他規制	農業振興地域(農用地区域)	農業振興地域(農用地区域)	農業振興地域(農用地区域)	河川区域	
	周辺環境への影響、開発事項 用地買収の有無	・交通量増加に伴う、周辺道路及び交差点への影響有 ・周辺農地への配慮が必要 ・新たな道路整備が必要 ・用地買収が必要 面積約44,000㎡(拡張エリア全体) 35筆(拡張エリア全体)	・周辺農地への配慮が必要 ・用地買収が必要 面積約44,000㎡(拡張エリア全体) 35筆(拡張エリア全体)	・周辺農地への配慮が必要 ・用地買収が必要 面積約44,000㎡(拡張エリア全体) 35筆(拡張エリア全体)	・周辺農地への配慮が必要 ・用地買収が必要 面積約44,000㎡(拡張エリア全体) 35筆(拡張エリア全体)	・河川管理者と協議が必要	難
	早期実現性	約9年 (用地買収:約3年、法手続き:約2年 設計:約2年、整備:約2年)	約10年 (用地買収:約3年、法手続き:約2年 設計:約2年、整備:約3年)	約10年 (用地買収:約3年、法手続き:約2年 公募準備:約2年、設計・整備:約3年)	約3年 (設計:約2年、整備:約1年)		易
整備のしやすさ評価		△	△	△	○		

【利活用優先度評価】

エリア名		プラススポーツ・エリア(拡張エリア)						リバーサイド・エリア	
利活用イメージ		要望の高いスポーツ施設に加えて、若者に人気の高いスポーツも取り入れた、幅広いスポーツを気軽に体験できるエリア ○未来のアスリートを目指して、子どもたちがスケートボードやボルダリングなどのニュースポーツをしています ○だれもが一緒にスポーツを楽しんでいます ○更衣室やシャワー室、スポーツ用品のレンタルなどを備えた施設があり、だれもが気軽に利用しています						逢妻川緑地に活動拠点を配置し、水辺空間をいかしたレクリエーション活動が楽しめるエリア ○逢妻川を散歩する人、犬の散歩をする人、ジョギングする人があり、リバーサイドステーションで豊かな眺めを楽しみながら休憩しています ○逢妻川では水遊び、河川敷ではサイクリングやライドアクティビティ(バギーなど)を楽しんでいます ○だれもが一緒にBBQで仲間と盛り上がっています	
市民	惜しいところ	なし	低	なし	低	なし	低	河川敷が有効活用されていない	中
事業者	指定管理者制度活用の可能性	5	高	5	高	5	高	5	中
	提案利活用イメージ	・スポーツイベントチケットとセットの駐車場予約販売		・プロスポーツチームとのつながりを活かす		・プロスポーツチームとのつながりを活かす		なし	
行政	運営上の喫緊課題	なし	中	なし	中	なし	中	・河川敷の利用マナー	中
	指定管理状況	未整備・未指定		未整備・未指定		未整備・未指定		指定管理(令和8年度まで)	
	周辺施設との連携	なし		市内スポーツ施設との連携		なし		なし	
利活用優先度評価		○				○		○	

着手時期の設定 (短期、中期、長期)	中期	中期	中期	中期
-----------------------	----	----	----	----

■刈谷市総合運動公園

エリア名		エントランス・エリア	アリーナ・スタジアム・エリア	グリーンフィールド・エリア	
利用イメージ(整備)		公園のエントランスに、気軽に立ち寄れる飲食施設などを配置し、スポーツの魅力を発信するエリア ■エントランスガーデン／レストラン・カフェ(飲食施設)、売店(コンビニ・スポーツ用品)など	スポーツ講座などの活動プログラムを更に充実させた、スポーツに参加する機会が得られるエリア ■バラスポーツ/e-スポーツなど	屋内施設やインクルーシブな遊び場を配置し、たれでも一緒に体を動かして楽しめるエリア ■プレイハウス(屋内遊具施設)／屋根付スポーツ広場(イベント広場)など	屋内施設やインクルーシブな遊び場を配置し、たれでも一緒に体を動かして楽しめるエリア ■インクルーシブな遊具／水遊び場／ふわふわドームなど
市民	市民の期待・要望 期待順位・得票数	2位(66票) ・レストランやカフェがあると良い ・飲食店が軽食がでるところがあればうれしい	5位(28票) なし	3位(55票) ・気楽に子どもや大人が体を動かせる環境が広がると嬉しい ・雨の日でも子どもが遊べる施設がほしい ・子どもが遊ぶ室内があると良い	3位(55票) なし
	嬉しいところ	・レストラン・売店がほしい	・気軽にスポーツできない	・日よけ雨除け等の屋根がない ・水を使った遊び場が欲しい	・車椅子で遊べる遊具が欲しい
	安全・安心効果 ・防災機能向上	なし	なし	なし	なし
	生活の質の向上効果 ・環境維持、改善 ・健康、レク提供 ・景観形成 ・文化伝承 ・子育て、教育 ・コミュニティ形成	・多様な行事等の実施により、コミュニティの活性化に寄与する効果が期待できる	なし	・イベント等での利用による交流機会の創出を図れる ・施設を通じて子どもの育成が図れる	・全ての子どもと一緒に楽しく遊べるインクルーシブな公園を実現できる ・施設を通じて子どもの育成が図れる
事業者	公園に興味のある事業者数	7	7	7	7
	積極的参加意欲のある事業者	0	0	0	0
	事業者からの具体提案イメージ	・産直＆輸入食品・雑貨 ・レストランカフェ ・スポーツバー	なし	・産直＆輸入食品・雑貨 ・レストランカフェ ・スポーツバー	・インクルーシブ施設 ・ニュースポーツ広場
	イメージとの整合 (概ね整合、やや整合、不整合)	概ね整合	—	概ね整合	概ね整合
	官民連携の可能性	可能性あり(積極的参加意欲:1社) (P-PFI・指定管理等での飲食施設運営)	可能性なし	可能性あり(積極的参加意欲:1社) (P-PFI・指定管理等での飲食施設運営)	可能性あり(積極的参加意欲:1社) (指定管理等での施設運営)
	他エリアとの一体整備の必要性	なし	なし	なし	なし
行政	生産拡大効果 ・観光振興 ・経済活性化	・地域の雇用の場を創出し、地域経済を活性化 する効果が期待できる	なし	なし	なし
	施設状況 喫煙課題	なし	ウイングアリーナ刈谷 ■体育館 RC造 ・2006年建設(築17年) ※目標耐用年数80年 ※2019年度利用者数339,764人 ウェーブスタジアム刈谷 ■陸上競技施設 RC造 ・1993年建設(築30年) ※目標耐用年数80年 ※2019年度サッカー等160回、陸上189回、陸上個人利用37,031人 ・一般利用が制限される	なし	■レインボーマウンテン ・1994年建設(築29年) ※目標耐用年数36年 ■木製健康遊具 ・1994年建設(築29年) ※目標耐用年数17年 ・遊具の老朽化
行政	イメージや課題に対する 市の取組状況・熟度	—	・R6空調設備改修工事予定 ・ウイングアリーナ刈谷の耐用年数は残り63年 ・ウェーブスタジアム刈谷の耐用年数は残り50年 ・民間スポーツ団体が転出の意向あり	—	・レインボーマウンテンの耐用年数は残り7年 ・木製健康遊具の耐用年数を過ぎている
整備優先度評価		◎	△	◎	◎

【整備のしやすさ評価】	法規制	都市公園区域	公園区域内	公園区域内	公園区域内	公園区域内
		供用開始	供用済	供用済	供用済	供用済
	周辺環境への影響、懸念事項 用地買収の有無	その他規制	なし	なし	なし	なし
		早期実現性	約4年 (公募準備:約2年、設計:約1年、整備:約1年)	—	約4年 (公募準備:約2年、設計:約1年、整備:約1年)	約3年 (設計:約2年、整備:約1年)
	整備のしやすさ評価		◎	◎	◎	◎

エリア名		エントランス・エリア	アリーナ・スタジアム・エリア	グリーンフィールド・エリア	
利用イメージ		公園のエントランスに、気軽に立ち寄れる飲食施設などを配置し、スポーツの魅力を発信するエリア ○美しいエントランスガーデンがあり、四季の花が咲いています ○公園駐車場に隣接して、レストランやカフェがあり、いつでも気軽に立ち寄れます。ホームチームのグッズやスポーツ用品のレンタルなどもあり、いつでも賑わっています ○広場でイベントが開催され、多くの人で賑わっています	スポーツ講座などの活動プログラムを更に充実させた、スポーツに参加する機会が得られるエリア ○だれもと一緒にスポーツを楽しんでいます ○ホームタウンパートナーチームと市民が触れ合っています ○多世代に渡ってスポーツをしています ○園内トップクラスのスポーツを観戦しています	屋内施設やインクルーシブな遊び場を配置し、たれでも一緒に体を動かして楽しめるエリア ○車いすの子どもや運動が苦手な子どもも、だれもと一緒に元気に遊んでいます ○雨の日や、暑い日でも子どもたちが屋内施設で安心して遊んでいます ○駐車場などからアクセスがしやすくなり、だれもが快適に利用しています ○広場では、特色のある遊具やそれぞれの楽しみ方でのびのびと遊んでいます	屋内施設やインクルーシブな遊び場を配置し、たれでも一緒に体を動かして楽しめるエリア ○車いすの子どもや運動が苦手な子どもも、だれもと一緒に元気に遊んでいます ○雨の日や、暑い日でも子どもたちが屋内施設で安心して遊んでいます ○駐車場などからアクセスがしやすくなり、だれもが快適に利用しています ○広場では、特色のある遊具やそれぞれの楽しみ方でのびのびと遊んでいます
市民	嬉しいところ	なし	・気軽にスポーツできない	なし	なし
事業者	指定管理者制度活用可能性	5	5	5	5
	提案利活用イメージ	・芝生広場を平日・休日を使い分ける。休日はマルシェができた、平日はグラウンドゴルフなど	なし	・芝生広場を平日・休日を使い分ける。休日はマルシェができた、平日はグラウンドゴルフなど	なし
行政	運営上の喫緊課題	なし	・一般利用が制限される	なし	なし
	指定管理状況	指定管理(令和8年度まで)	指定管理(令和8年度まで)	指定管理(令和8年度まで)	指定管理(令和8年度まで)
	周辺施設との連携	なし	なし	なし	なし
利活用優先度評価		○	○	○	△

着手時期の設定 (短期、中期、長期)	短期	中期	短期	短期
-----------------------	----	----	----	----

18

■フローラルガーデンよさみ

エリア名		ガーデン・エリア	花の丘・エリア	あそびとつどい・エリア	
【整備優先度評価】	市民	市民の期待・希望 期待順位・希望数 嬉しいところ 安全・安心効果 ・防災機能向上 生活の質の向上効果 ・環境維持・改善 ・健康・レク提供 ・景観形成 ・文化伝承 ・子育て・教育 ・コミュニティ形成	イングリッシュガーデンの充実を図り、たれもがリフレッシュできるエリア ■イングリッシュガーデン ■ガーデンレストラン ■フローラルプラザ(カフェ) ※既存施設 ■温室(サボテン) 【イメージ】 イングリッシュガーデン・垂りの庭/音の庭/色の庭/温室(サボテン)/カフェなど	花の回廊を配置し、四季の花々を楽しむことができるエリア ■花の丘 【イメージ】 花の回廊など	遊具と広場の充実を図り、どの世代も安心して遊び集えるエリア ■イベント広場 ■屋根付き広場 ■遊具広場 ■中高生遊具広場 ■幼児用遊具広場 【イメージ】 遊具広場/屋根付き広場/イベント広場など
	事業者	公園に興味のある事業者数 積極的参加意欲のある事業者数 事業者からの具体提案イメージ イメージとの整合 (概ね整合、やや整合、不整合) 官民連携の可能性 他エリアとの一体整備の必要性 生産拡大効果 ・観光振興 ・経済活性化	2位(86票) ・イングリッシュガーデンを充実させてほしい、よさみのオリジナルティなので広げてほしい ・ハーブガーデンが欲しい ・ガーデンエリアが充実してほしい ・メインストリートがいかされていない ・飲食施設を充実させてほしい ・温室位置の見直しが必要 なし ・イングリッシュガーデンの整備により景観形成効果が期待できる	3位(70票) ・周りにあまりないので良いと思う ・花を次山育ててほしい、オリジナルティなので充実させてほしい なし なし ・花の丘の整備により、景観形成効果が期待できる	1位(104票) ・遊ぶ場所がもっと広いといい ・いろいろな年代の子どもが遊べるようにしてほしい ・雨の日も楽しめる場所がほしい ・遊具がもう少し欲しい ・屋根のある場所が欲しい ・中高生の集まる場所がない ・屋根付き広場などの整備により、防災機能向上効果が期待できる ・遊具の整備により、健康・レク提供効果が期待できる 概ね整合 可能性あり(積極的参加意欲:1社) (指定管理等での運営) なし なし なし
行政	施設状況 喫煙課題	■フローラルプラザ RC造 ・2006年建設(築17年) ■温室 S造 ・2006年建設(築17年) ※目標耐用年数80年 ・イベント時の駐車場の不足	なし	■施設大型遊具 金属性 ・2006年度設置(築17年) ※長寿命化計画上、耐用年数36年 ・日よけ不足	
	イメージや課題に対する市の取組状況・熟慮	・プラザ西側にイングリッシュガーデンがある ・プラザに新たにカフェオープン ・プラザの耐用年数は残り63年 ・温室の耐用年数は残り63年	—	・R6大型遊具の一部改修を予定 ・大型遊具の耐用年数残り19年	
整備優先度評価		○	△	◎	

【整備のしやすさ評価】	法規制	都市公園区域	公園区域内	易	一部公園区域外	難	一部公園区域外	中
		供用開始	供用済		供用(一部)		供用済	
		その他規制	なし		農業振興地域 (農用地区域)		なし	
	周辺環境への影響、懸念事項 用地買収の有無		なし	易	・依佐美送信所跡地の利用 ・依佐美工業団地の動向 ・用地買収が必要 面積:約7,000㎡ 4筆	難	・依佐美送信所跡地の利用 ・依佐美工業団地の動向	中
	早期実現性		約4年 (計画設計:約2年、整備:約2年)	易	約8年 (用地買収:約1年、法手続き:約2年 計画設計:約3年、整備:約2年)	中	約5年 (計画設計:約3年、整備:約2年)	易
	整備のしやすさ評価		◎		△		○	

エリア名		ガーデン・エリア	花の丘・エリア	あそびとつどい・エリア				
利用イメージ		イングリッシュガーデンの充実を図り、たれもがリフレッシュできるエリア ○広く充実したイングリッシュガーデンでは、バラやハーブなどの美しい花を見たり、花を背景に写真を撮っています ○音の庭や音の庭、色の庭などの工夫を凝らしたガーデンがあり、たれもが楽しんでいます ○ガーデンレストランやカフェでは、色とりどりの花や木々を見ながら豊かな時間を過ごしています ○花に関する勉強会や相談会が開催され、気になった花を買っています	花の回廊を配置し、四季の花々を楽しむことができるエリア ○小高い丘では、四季の花を眺め、ゆったり過ごしています ○新たなフローラルガーデンよさみのシンボルエリアとなっています ○小高い丘から、公園内の美しい景色を見渡しています	遊具と広場の充実を図り、どの世代も安心して遊び集えるエリア ○晴れた日も雨の日もさまざまな遊具で、子どもたちがみんな一緒に遊んでいます ○テラスに座って中高生が集まっておしゃべりしています ○マルシェが開催され、多くの人が訪れています ○コーヒーなどを飲みながら、広場でくつろいでいます				
	市民	嬉しいところ	・メインストリートがいかされていない	中	なし	低	なし	低
	事業者	指定管理者制度活用の可能性	1	1	中	なし	低	なし
提案利用イメージ		・コンサートの開催 ・カフェ事業者との共同 ・ガーデンを利用したヨガ ・ガーデンスケールの開催 ・雑貨の販売 ・ポランテアとの連携 ・モデルガーデンの作成	なし	なし				
行政	運営上の喫緊課題	なし	中	なし	中	なし	低	
	指定管理状況	指定管理(令和8年度まで)	指定管理(令和8年度まで・一部)	指定管理(令和8年度まで)				
	周辺施設との連携	地元農業者組合との連携	地元農業者組合との連携	なし				
	利用優先度評価	○	△	△				

■フローラルガーデンよさみ

エリア名		依佐美送信所・エリア		ジョギング・ウォーキングコース		緑のみち	
		うち森の小屋、プレーパーク、ピオトープ					
市民	利用イメージ(整備)	自然の中で遊べる施設の充実を図り、緑で囲まれた依佐美送信所記念館は、歴史を学び、体験することができるエリア ■依佐美送信所記念館 ※既存施設 ■森の小屋 ■プレーパーク ■ピオトープ 【イメージ】 高道の森づくり/記念館の展示の充実/ピオトープ/プレーパーク(自然の遊び場)/駐車場の増設など		目的に応じて選ぶことができるジョギング・ウォーキングコース 【イメージ】 歩きやすい舗装/レーンの表示など		ミササガパークと刈谷駅とは緑のみちであちどつながっています 【イメージ】 遊歩道/ベンチ/サイン整備など	
	市民の期待・要望 期待順位・得票数	5位(38票)	5位(38票)	4位(42票)	6位(23票)		
	借いところ	・駐車場を確保してほしい ・自動車による来客者がほとんどであるため、駐車場利用ニーズが高い	・ピオトープがほしい、水場に生き物がいるといい ・子どもたちが自然と触れ合う場として求められている ・プレーパークが欲しい ・現在はガーデンエリアで定期開催されている	・長距離コースにしてほしい	なし		
	安全・安心効果 防災機能向上	なし	・プレーパークがあると良い ・森が欲しい ・池はあるが生き物がいない	なし	なし		
	生活の質の向上効果 ・環境維持、改善 ・健康、レク提供 ・景観形成 ・文化伝承 ・子育て、教育 ・コミュニティ形成	なし	・プレーパークの整備により子育て、教育効果が期待できる	・ジョギングコースの充実により、健康、レク提供効果が期待できる	健康的なライフスタイルを提供することができる		
事業者	公営に興味のある事業者数	3	3	3	3		
	積極的参加意欲のある事業者数	1	1	1	1		
	事業者からの具体提案イメージ	なし	なし	・コース沿いに健康遊具の設置 ・レーン区分	・他の公園や施設までのサイン設置		
	イメージとの整合 (概ね整合、やや整合、やや整合)	なし	なし	やや整合	やや整合		
	官民連携の可能性	可能性あり(積極的参加意欲:1社) (指定管理等での運営)	可能性あり(積極的参加意欲:1社) (指定管理等での運営)	可能性あり(積極的参加意欲:1社) (指定管理等での運営)	可能性あり(積極的参加意欲:1社) (指定管理等での運営)		
	他エリアとの一体整備の必要性	なし	なし	なし	なし		
	生産拡大効果 ・観光振興 ・経済活性化	なし	なし	なし	なし		
行政	施設状況 喫煙課題	■依佐美送信所記念館 RC造 ・2006年建設(築17年) ※目標耐用年数80年	なし	なし	なし		
	イメージや課題に対する市の取組状況・熟度	—	—	—	—		
整備優先度評価		△	△	△	△	△	

【整備のしやすさ評価】	法規制	都市公園区域	一部公園区域外	公園区域外	一部公園区域外	公園区域外	公園区域外
		供用開始	供用済(一部)	未供用	供用済(一部)	供用済(一部)	供用済(一部)
		その他規制	農業振興地域 (農用地区域)	農業振興地域 (農用地区域)	なし	なし	なし
	周辺環境への影響、懸念事項 用地買収の有無	・依佐美送信所跡地の利活用 ・依佐美工業団地の動向 ・用地買収が必要 面積約9,000㎡ 6筆 民家1軒あり (依佐美送信所エリア全体)	・依佐美送信所跡地の利活用 ・依佐美工業団地の動向 ・用地買収が必要 面積約9,000㎡ 6筆 民家1軒あり (依佐美送信所エリア全体)	・用地買収が必要	・道路管理者協議が必要	・道路管理者協議が必要	・道路管理者協議が必要
		早期実現性	約8年 (用地買収:約1年、法手続き:約2年 計画設計:約3年、整備:約2年)	約8年 (用地買収:約1年、法手続き:約2年 計画設計:約3年、整備:約2年)	約8年 (用地買収:約1年、法手続き:約2年 計画設計:約3年、整備:約2年)	約8年 (用地買収:約1年、法手続き:約2年 計画設計:約3年、整備:約2年)	約8年 (用地買収:約1年、法手続き:約2年 計画設計:約3年、整備:約2年)
	整備のしやすさ評価		△	△	○	○	○

エリア名			依佐美送信所・エリア			ジョギング・ウォーキングコース		ジョギング・ウォーキングコース		
利用イメージ			自然の中で遊べる施設の充実を図り、緑で囲まれた依佐美送信所記念館は、歴史を学び、体験することができるエリア ○依佐美送信所記念館の展示を中心として、公園の各所で楽しみながら歴史を学び、体験することができます ○依佐美送信所記念館を囲む緑は、市民がつくり育てた緑であり、自然を体感できる創造的な遊び場として、だれもが一緒に楽しんでいます			目的に応じて選ぶことができるジョギング・ウォーキングコース ○さまざまな年代の人が、ジョギングやウォーキングを楽しんでいます ○コースの途中には、健康遊具でストレッチする人や、ベンチや四角でゆっくり休む人がいます		ミササガパークと刈谷駅とは緑のみちでつながっています ○健康づくりのために、ミササガパークとフローラルガーデンよさみを歩いて周遊する人がたくさんいます ○公園では車をせずに、歩いて楽しむ人が増えています		
【利用優先度評価】	市民	借したいところ	なし	低	なし	低	なし	低	なし	低
	事業者	指定管理者制度活用の可能性	1	中	1	低	1	低	1	低
		提案利用イメージ	・展示会の開催の促進 ・クラシックコンサートの開催継続		なし		なし		なし	
	行政	運営上の喫煙課題	なし	低	なし	低	なし	低	なし	低
		指定管理状況	指定管理(令和8年度まで・一部)	指定管理(令和8年度まで・一部)	指定管理(令和8年度まで・一部)	なし				
		周辺施設との連携	なし	なし	なし	なし				
		利用優先度評価		△	△	△	△	△		

着手時間の設定 (短期、中期、長期)	長期		長期	